



松本市立松島中学校 学校だより No.12 令和7年3月19日(水)

大志ゆめみん



令和6年度卒業証書授与式 学校長式辞

弥生三月の雪は、水分を含んで重いものでしたが、そのことが、軒下の雪解けの雫とともに確実な春の訪れを感じさせてくれています。本日、ここに、令和六年度の卒業証書授与式を挙行できますことを在校生、保護者の皆様方、地域の皆様方、職員と一緒に喜びたいと思います。

まずは、卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんの前には、松島中学校を卒業した一万八千人の同窓の先輩方がいます。その伝統の重みと誇りを胸に、今日、この母校を巣立って欲しいと思います。

昨年度五月に新型コロナウイルス感染症への対応が緩和され、それ以前の学校生活が戻ってきました。卒業生のみなさんが中心となって進めてきた生徒会活動では、「開花 ～笑顔と絆の華～」をスローガンに一年間、活動をしてきてくれました。生徒会活動は「全校生徒の自主的自発的活動」によって行われるものです。その活動は、華々しいものばかりではありません。どちらかという、毎日毎日、コツコツと積み重ねていく、地道な活動がその中心ではないかと思います。今年度の生徒会は、生徒お互いの絆を大切にしながら、活動を積み重ねてきてくれたと思います。そして、節目となる第70回つくも祭では、「Sparkle ～希望が輝く夏～」をテーマに生徒が中心となるつくも祭を作り上げてくれました。若さが躍動した運動会や全校みんなで盛り上がった生徒会企画も素晴らしいものでした。その中でもみなさんの学年の魅力が溢れていたものが、音楽会でした。みなさんの学年は、クラス・学年で合唱に力を入れてきてくれました。各クラスの発表や学年合唱でみなさんからいただいた感動は、確かに後輩たちに受け継がれていくものと思います。後輩たちに「ああなりたい」という「憧れ」を抱かせてくれた合唱でした。きっとその憧れは、これからも引き継がれていくものだと思えます。

さて、そんな皆さんも九年間の義務教育を終え、自分自身が決めた進路を進むことになります。そんな新しい道を歩む皆さんに贈りたい言葉があります。聞いたことがある人も多いと思いますが、「Think globally, Act locally.」「地球規模で考え、地域で行動する」という意味です。今、地球規模では環境問題、エネルギー問題などが大きな課題となっています。また、国家間、人種間の紛争で命が失われていく悲しい現実もあります。貧困の差から生じる様々な問題もあります。これらのニュースを聞くたびに、これから先の地球が、世界が、日本がどうなっていくか、不透明であると感じます。そんな世の中を変えていくのは、皆さん、若い世代です。考えることも大切にしながら、具体的に動いてみてほしいと思います。外国へ行って広い世界を見ることも良いですが、私はみなさんが育ってきた地域で行動することも大いに意味があると思います。実際に皆さんは生徒会活動でエコキャップや書き損じはがきの収集など確実に社会や世界につながる活動を行ってきました。そのように、身近な所で自分に何ができるのか。そのことを考え続け、行動する人であってほしいと思います。ま

た、「地域で考え、地球規模で行動する(Think locally, Act globally.)」という言葉もあります。両方の見方で考えてみてほしいと思います。

終わりにりましたが、保護者の皆様方、本日はお子様のご卒業、おめでとうございます。この三年間の本校の教育活動へのご理解とご協力に心から感謝申し上げます。本日をもって、お子さんは、九年間の義務教育課程を卒業し、自らが選んだ道を歩み始めます。保護者の皆様にとっては、まだまだ危なっかしい所もあると思いますが、お子さんを信じて、少し離れてその歩みを見守ってみてはいかがでしょうか。子どもたちは親が思う以上に、たくましく成長しています。手を貸すのは、お子さんがそれを求めたときだけでよいのだと思います。これからのお子さんの成長を私たち職員も少し離れたところから見守り続けたいと思います。

また、日頃より本校へのご支援をいただいております、松本市、松本市教育委員会、そして地域の方々へも、心から感謝申し上げます。今後とも、本校へのご支援をいただきますようお願い申し上げます。

以上をもちまして、卒業生の皆さんの前途に幸多からんことを祈念し、式辞といたします。

令和七年三月十九日 松本市立松島中学校長 阪口和彦

＝ 保護者、地域の皆様へ ＝

日頃より、本校の教育活動に、ご支援とご理解をいただき、ありがとうございました。おかげさまで、卒業生が、それぞれが選んだ進路へ向けて、本校を巣立ちました。まだ成長過程の子どもたちです。目を離さず、心を離さず、見守り続けていただけたらと思います。

この一年、「できることがあったら、何でもやりますから、声をかけてください」と言ってくださる保護者、地域の皆様方が多くいらっしゃいました。心強く、ありがたいお言葉でした。心から感謝申し上げます。今後も松島中学校へ心をお寄せください。

今年度一年、ありがとうございました。

＝ 年度末人事で、松島中学校を去る先生方 ＝

以下の先生方が、令和6年度末人事異動等で、松島中学校での勤務を終えられます。

本校での勤務に長短はありますが、本校の教育活動にご尽力いただきました。心からの感謝を申し上げるとともに、新天地でのますますのご活躍を祈念いたします。ありがとうございました。

阪口 和彦 (校長) 役職定年	岩城 浩子 (英語) 松本市立信明中学校へ
塩尻市立広陵中学校へ	小沢 和子 (国語) 安曇野市立三郷中学校へ
近藤 達也 (教頭) 校長として	倉橋 幸雄 (理科) 松本市立梓川中学校へ
松本市立開成中学校へ	須田 直之 (音楽) 川上村立川上第二小学校へ
一條いづみ (英語) 退職	高澤 夏野 (英語) 退職
一志 正人 (社会) 退職	西村 英雄 (数学) 松本市立梓川中学校へ
伊藤 秀充 (保体) 伊那市立西箕輪中学校へ	長谷川雄二 (社会) 松本市立女鳥羽中学校へ
犬飼 喜博 (国語) 松本市立清水中学校へ	
井原 智美 (学校司書) 松本市立梓川中学校へ	(敬称略)